

泉谷しげる PROFILE

- 1948年5月11日 5月11日 青森県長島に生まれる。3才で上京、東京都目黒区青葉台で育つ。
- 1971年 エレックレコードより『泉谷しげる登場』でデビュー。
- 1972年 アルバム『春夏秋冬』を発表し、幅広い層の支持を受ける。
- 1975年6月 吉田拓郎・小室等・井上陽水らとレコード会社フォーライフを設立。リリース第1弾として『ライブ！！泉谷』を発売。
- 1976年7月 L.A.のクラブ「トルバドール」にて単独ライブを開催、観客を熱狂させる。
- 1978年10月 ワーナーパイオニアの洋楽レーベル、アサイラムに移籍。『'80のバラッド』を発表し、絶大な評価を受ける。
- 1979年6月 テレビ朝日系ドラマ『戦後最大の誘拐・吉展ちゃん事件』に出演し、テレビ大賞及び芸術祭優秀賞を受賞、役者としても注目を浴びる。
- 1980年 松竹映画『ええじゃないか』（今村昌平監督）に出演。また『狂い咲きサンダーロード』で美術・音楽を担当し、ブルーリボン美術デザイン賞を受賞。
- 1982年5月 レコード会社をポリドールに移籍。
- 1983年2月 TBS系ドラマ『金曜日の妻たちへ』に出演し、知名度を全国に広げる。
- 1986年6月 自らが監督・美術を手掛けたビデオ作品『デス・パウダー』を発表。
- 1988年1月 ビクター・レコードに移籍後、第1弾として『吠えるバラッド』を発表。
- 1988年12月 自ら監督・出演したオリジナル・ビデオ『ネイビー・ロックウォー・撃破せよ』を発表。海上自衛隊の全面協力を得た特撮シーンが話題を呼ぶ。
- 1991年 デビュー20周年を迎え『泉谷しげる with LOSER ツアー1991 叫ぶひと囁く』を全国10都市で開催。
- 1993年4～6月 TBS系テレビドラマ『谷口六三商店』に72才の"頑固ジジイ"役で出演。
- 1993年8月～ 北海道・奥尻島救済キャンペーン「一人フォーク・ゲリラ」と題した路上チャリティーライブを、東京23区内で展開。集まった募金はもとより、シングル盤『なぜ、こんな時代に』の印税も全額、奥尻島に寄付する。

泉谷しげる PROFILE

- 1994年1月13日 長崎・普賢岳噴火災害救済チャリティーコンサート「メッセージソングの日」を開催。同年8/16には日本武道館、10/28には島原市文化会館にて、「日本をすくえ'94」を各々開催。
- 1994年7月 スタジオジブリ制作の映画『平成狸合戦ぽんぽこ』で声優に挑戦。
- 1995年1月17日～ 阪神・淡路大震災救済のため、新宿駅東口を皮切りに、再び街頭フォークゲリラを決行。集まった募金はもとより、シングル盤『It's gonna be Alright』の印税も全額寄付する。
- 1996年2月 阪本順治監督作品『ビリケン』に出演。
- 1996年8月26日 今までのキャリアの集大成ビデオ『泉谷しげる大全集・全身全霊』を発売。
- 1996年10月～ 日本テレビ系バラエティー番組『香取慎吾のアジアのMIKATA』にレギュラー出演。
- 1996年12月 東映Vシネマ・高橋伴明監督作品『らくがき愚連隊』に出演。
- 1997年2月24日 仲井戸麗市との競演ライブ・『～対決～復讐するは我にあり』を渋谷公会堂にて開催。
- 1997年4月～ フジテレビ系バラエティー番組『Daiba・ba』にレギュラー出演。
- 1997年7月 日活映画・北村龍平監督作品『ヒート・アフター・ダーク』に出演。
- 1998年7月15日 レコード会社を再びポリドールに移籍後、第1弾として『私には夢がある』を発売。
- 1998年8月10日 "画家"としての作品集『泉谷しげるが作品・IMPACT』を発売。その後、渋谷PARCO、軽井沢トリックアート美術館、福岡夢美術館、神戸西神ニュータウンプレントにて『泉谷しげるアート展』を開催。
- 1999年1月30日 ファンクラブのみのスペシャルライブをもって、1年以上にも及ぶ全国津々浦々ツアー『泉谷しげる展』が終了。
- 2000年2月 アフリカ（ケニア・ナイロビ）にてライブを行う。
- 2000年4～9月 テレビ朝日系『週刊ワイドコロシウム』にレギュラー出演。事件現場に泉谷自らが出向き、取材する「泉谷が行く」のコーナーが大好評となる。
- 2000年12月31日 長崎・島原城カウントダウンライブに出演。

泉谷しげる PROFILE

- 2001年1月18日 テレビ朝日系『週刊ワイドコロシアム』で取材した事件を元に執筆した「とぎすまされた六感」を発売。
- 2001年9月1日 デビュー30周年を迎え、自らのレーベル『iZ』（イズ）を立ち上げ、第1弾として『起死回生』を発表。
- 2002年6月15日 渋谷 AX にて『狂い咲き！31周年記念ライブ』を開催。レーベル第2弾『R-15』を発売。また“盟友”忌野清志郎と共に『スパイスマーケット』を結成し、フジロックフェスティバルなどに参加。
- 2003年 フジテレビ系ドラマ『Dr.コトー診療所』に出演し、再び役者としても注目される。
- 2004年 ガガガ SP のコザック前田と『生活／永遠のウソつき』を発表。
また東宝映画『ドラえもん、のび太のワンニャン時空伝』に声優として初挑戦。
北海道テレビ制作（'98年タジキスタンで凶弾に倒れた国際政治学者・秋野豊氏の）ドキュメント番組『青いツバメ』や東宝映画『GODZILLA-FINAL WARS』（北村龍平監督）に出演。
フジテレビ系ドラマ『愛し君へ』、『Dr.コトー診療所 2004』、『めだか』にも出演。
- 2005年 日本テレビのシナリオ登竜門『目の鱗、ぼろり』（脚本／北村尚子）に主演。
フジテレビ系ドラマ『エンジン』や日本テレビ系ドラマ『女王の教室』、TBS系ドラマ『恋の時間』に出演。
- 2006年 映画『バルトの楽園』（出目昌伸監督）に出演。またテレビではTBS系ドラマ『クロサギ』や、前作が好評を博したフジテレビ系ドラマ『Dr.コトー診療所 2006』に出演。
- 2006年5月21日 渋谷 DUO にてライブ『ライフとは「泉谷ショック！！」』を開催。
- 2007年 映画『キャプテントキオ』（渡辺一志監督）に出演し、またアメリカ3Dアニメ映画『モンスターハウス』の吹き替えにも挑戦。
フジテレビ系『東京タワー～オカンとボクと、時々、オトン』、テレビ朝日系『女帝』に出演。
音楽の分野ではフジテレビ系アニメ『ゲゲゲの鬼太郎』のオープニング

泉谷しげる PROFILE

- テーマを担当し、さらにデビュー35周年を記念した10枚組BOX CD『黒いカバン』を発売。
- 2007年5月13日 渋谷DUOにてライブ『フルライブ! 35曲制覇』を開催。
- 2008年1月～ TBS『R-ゼロ』、CS朝日『泉谷しげると翼なき野郎ども』音楽番組を同時にスタートさせる。
またフジテレビ系ドラマ『ハチミツとクローバー』にレギュラー出演。
- 2008年5月11日 60歳還暦を迎えSHIBUYA-DUO MUSIC EXCHANGEで還暦記念ライブ『泉谷還暦・誕生ライブ～オレの歌は君の季節になれるか?～』を開催。同日、通販・ライブ会場限定販売シングル「すべて時代のせいにして」(アルバムと同名)を発売。
- 2008年5月～ 「土地土地の歴史と向かい合い、歌の季節を求める旅～オレの歌は君の季節になれるか?～」をコンセプトに、ライブ・ツアー『ロードオフライブ』を実施。
- 2008年9月20日 7年振り、ポニーキャニオン移籍第一弾となるオリジナルニューアルバム「すべて時代のせいにして」を発売。
- 2008年10月4日 「60×60 泉谷しげる展覧会」と銘打ち、60曲のオールナイトライブを開催。
- 2009年1月 フジテレビ系ドラマ「VOICE」に出演。
- 2009年4月2日 インターネット放送局「コラコラ放送局」がスタート。
- 2009年4月～6月 日本テレビ系ドラマ「ザ・クイズショウ」に出演
- 2009年5月10日 恵比寿ザ・ガーデンホールにて「生まれ落ちた者たちへの生誕祭」と題したライブを開催。
- 2009年6月～ アメブロにて「泉谷しげるオフィシャルブログ・兎猫豚(うびょうとん)のみらい日記」をスタート。
- 2009年7月～ 泉谷しげる自らが描いた『うびょうとん』などのキャラクターをモチーフにした、グッズを販売するネットショップ「うびょ～とんのコラコラショップ」をスタート。
- 2009年7月～9月 『FUJI ROCK FESTIVAL '09』(新潟)を皮切りに、『ROCK IN JAPAN

泉谷しげる PROFILE

FESTIVAL 2009』(茨城)、『NTT DOCOMO presents MONSTER
baSH 2009』(香川)、『17th Sunset Live 2009 Love & Unity』(福
岡)、『杜のフェスティバル 2009』(広島)など、各地で開催された夏
フェスに出演。

泉谷しげる PROFILE

泉谷しげる主な作品	
アルバム	『春夏秋冬』・『家族』・『180のバラッド』・『90's BALLAD』・『IZUMIYA SELF-COVERS』・『自画自賛』・『私には夢がある』・『IRA』・『起死回生』・『すべて時代のせいにして』など
ドラマ	『戦後最大の誘拐・吉展ちゃん事件』(ANB)・『金曜日の妻たちへ』(TBS)・『谷口六三商店』(TBS)・『ひまわり』(NHK)・『ケイゾク』(TBS)・『Dr.コトー診療所』(CX)・『愛し君へ』(CX)・『エンジン』(CX)・『目の鱗、ぼろり(シナリオ登竜門)』(NTV)・『女王の教室』(NTV)・『ハチミツとクローバー』(CX)『VOICE』(CX) など
映画	『ええじゃないか』(松竹)・『ビリケン』(シネカノン)・『ケイゾク』(東宝)・『白痴』(白痴製作実行委員会)・『ヒート・アフター・ダーク』(日活)・『GODZILLA-FINAL WARS』(東宝)・『天使』(SEP)・『キャプテントキオ』・『モンスターハウス(注・アフレコ出演)』・『旅立ち～足寄より』など
ビデオ・DVD	『デス・パウダー』・『ネイビー・ロック・ウォー撃破せよ』・『らくがき愚連隊』(東映 V シネマ)・『HOWLING LIVE』・『日本を救え!!』・『泉谷しげる大全集・全身全霊』・『ロードオブライブ with 泉谷しげる』・『泉谷展覧会60×60』など
書籍	『わが奔走』・『泉谷しげるの治外法権』・『IMPACT』・『イズミヤサウルスの逆襲 恐竜と呼ぶな!大センパイと呼べ!』・『ひとりフォークゲリラお前ら募金しろ!』・『とぎすまされた六感』など
CM	『第一生命』・『横浜ゴム』・『アサヒビール/J.O.』・『旭化成/WARU』・『日清食品/どん兵衛』・『興和新薬/フィニッシュコーワ』・『インクリメント P/MapFan』・『大塚製薬/オロナミン C』・『総務省/不法電波』・『厚生労働省/児童虐待』・『東日本ハウス/宿泊体験』・『ニューギン/泉谷しげるの座頭市物語』・『松下電器産業/VIERA(インターネット CM)』・『プラト/弾いて歌える DS ギター “M-06”』など